

いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報 い ず み 第68号

発行／いずみ会 編集／いずみ会広報部
〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内
ホームページ <http://www.izumikai.com/>
e-Mail izumikai@v7.com
※ホームページの閲覧や投稿をよろしくお願い致します。



いずみ会HP

主 な 記 事

- 2・3 評議員会
- 4・5 母校
- 6・7 緑蔭
- 8・9 同期会開催報告
- 10 ホームページ掲載記事・計報
- 11 会計部より・寄付者一覧
- 12 総会案内

Face to face…続けていくために

会長 荒井 眞理子

新役員一同です。よろしくお願いいたします。(3面参照)



現在いずみ会は大きく二つの課題を抱えています。一つは前受け制度でお預かりしています会費には限りがあり、加えて新入会生の減少による入会金の減収という資金面の課題。二つ目は次世代を担う会員の方々に「同窓会・いずみ会」を再認識していただくという課題で、具体

的な対応を考えています。同時に活動を続けていくためのベースとしてもう一つ「集まって話をする」ことが大きな意味を持つのではないかと考えます。皆様に支えられ、来年度いずみ会は80周年を迎えます。これを新たなチャンスと捉え、総会・懇親会、評議員会、同期会、クラス会をはじめとして母校で開かれる体育祭、文化祭、探求成果発表会など機会あるごとに集まって語り合い、つながりを持ち続けましょう。多くの方々と顔を合わせて話すことで同窓生としてつながりが積み重ねられ、何気ない会話から活動のヒントが生まれる可能性も出てきます。私たち役員も機会あるごとにつながりの輪を広げるべく動いてまいります。

いずみ会は会員一人一人が支え、成り立つ組織です。会員同士積極的につながり、対面して語り合うことから必ず次の活動への基礎が生まれてくると期待しています。どうぞいずみ会の輪をつなぎ合う力であってください!!

末文になりましたが今回退任されます布施百合子さん、妹尾和夫さん、田邊夏樹さん、植村直人さんには大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

★68号は12ページでお届けします。

昨年まで会報は配送コストを考慮してゆうメールにてお送りしておりましたが、昨今郵便法による取り扱いが厳しくなり、会員の皆様との情報交換が全くなくなってしまいました。皆様との情報交換はとても重要な課題ですので、今回より普通郵便を利用し、この問題を回避することといたしました。普通郵便は重さによって料金が変わりますので、会報を16面から12面にすることで重さの問題を解決した次第です。少ないページ数にはなりますが、出来るだけたくさんの情報をお届けするように努めます。いずみ会ホームページでも記事の連携をしていますのでこちらもご利用ください。

◎お願い◎

同封の返信ハガキ表面に皆様の期とお名前を、裏面には総会・懇親会の出欠・住所変更・人材バンク登録・近況やご意見ご希望をご記入の上10月15日までに投函ください。またゆうちょ銀行の払込取扱票にはそれぞれの会費納入状況が記入されておりますのでそれを参考にお振込みをよろしくお願いいたします。

来年はいずみ会創設80周年です!

記念行事・事業のご提案、
また在校時の思い出などを
ぜひお寄せください。

本年度総会

2024年(令和6年)10月26日(土)

総会(於:母校食堂 受付開始13:30～ 総会開始14:00～)

懇親会(於:VANSAN大泉学園店 16:00～18:00) 詳細12面参照

評議員会報告

事務局長 山川 新

5月25日(土)大泉の練馬区立勤労福祉会館多目的室に於いて、令和6年度定時評議員会が開催されました。評議員374名(郵送案内者:118名、メール案内者:256名、宛名不明者:3名)に対して、返信者総数:197名(ハガキ:48名、メール:149名)で出席者57名、委任状提出者(期日まで)125名で、評議員会開会時に合計182名の参加者で定足数124を満たしており評議員会は成立しました。議長に石川文武評議員(15期)、議事録署名人に茂木宏評議員(23期)、笠間功評議員(24期)が選出され、

以下の項目が審議されました。

第1号議案「令和5年度事業報告並びに収支決算報告」及び「監査報告」は賛成多数で承認されました。続いて、次年度事業計画に影響するため第3号議案を先行して審議しました。第3号議案「いずみ会規約及び規則の改正の件」は賛成多数で承認されました。第2号議案「令和6年度事業計画案及び予算案」は賛成多数で承認されました。第4号議案「いずみ会役員選任の件」は山本選挙管理責任者から役員候補者が紹介され、賛成多数で候補者

全員が承認されました。報告事項として、総会後の懇親会幹事は「2の会」が担当し、令和6年10月26日に外部会場で開催するとの報告がありました。

尚、今回審議しました評議員会議案書はホームページ(<http://www.izumikai.com/>)に掲載されていますので、必要な方はご覧ください。

評議員会議題の全文については、ホームページ「お知らせ・評議員会資料」をご参照ください。



いずみ会HP

令和6年度定時評議員会



◇ 高76期 評議員紹介 ◇

1組	伊藤 咲和、内田 旺佑
2組	菅原 大貴、中島 怜愛
3組	遠藤 義士、門倉 菜々美
4組	有馬 陸、中基 央雅
5組	大友 香琳、中原 香遙

◆ 新役員紹介 ◆

○令和6～7年度役員紹介

会 長 荒井 眞理子(高20期)

副会長 富井 利尚(高18期)、山口 達夫(高20期)、棟方 隆一(高32期)

理 事 山川 新・真柳 仁(高24期)、樋口 洋子(高27期)、山田 喜彰・古畑 基樹(高28期)、山本 孝文(高30期)、藤倉 彰夫・小倉 扶美子・関根 祥平・中城 知寿(高32期)、戸田 敏治(高46期)、高岡 由貴(高69期)

監査役 水野 國雄(高19期)、花澤 亮司(高22期)、小泉 成美(高32期)

縦の絆で広がる新しい「いずみ会」の可能性を信じて

高46期 戸田 敏治

同窓生の皆様、この度「いずみ会」の理事に就任いたしました46期の戸田敏治です。

私が理事に立候補した理由の一つに、同窓会「いずみ会」を通じて「縦の交流をもっと創り出してみたい」と考えたことが挙げられます。私はこれまで、同じ高校出身者との年代を越えた交流から多大な恩恵を受けてきました。先輩からも後輩からも学ぶことは多いですし、話していると高校時代を懐かしく思い出し、不思議と力が湧いてくることもあります。そんな世代を越えた交流が、同窓会組織「いずみ会」の活動を通じて得ることができれば、さらに私の人生を豊かにしてくれていると確信しています。

世代を越えた交流が人生をいかに豊かにするか。財政難や参加者減少など「いずみ会」が直面する課題にどう向き合うべきか。そして40代・50代の皆様、なぜ今、同窓会なのか。私が描く同窓会の未来をお話し、大泉高校での思い出を胸に、新時代の「いずみ会」を共に創り上げていければと願っております。皆様の参加が、組織をそして私たち自身を変える力となります。詳細はホームページに掲載しております。ぜひ一読ください。皆様とお会いできる日を心より楽しみにしております。

令和5年度 収支決算書

(自令和5年4月1日～至令和6年3月31日)

単位：円

【収入の部】

科 目	令和5年度実績
入会金 / 会費 / 寄付金	3,136,500
総会参加費	135,000
評議員会懇親会参加費	0
名簿関係収入 / 広告収入	51,600
雑収入	179,005
合 計	3,502,105

【支出の部】

科 目	令和5年度実績
総会関連費	184,592
役員・評議員会合費	152,387
広報費 / 会員情報関連費	1,885,233
会費関連費	146,626
母校連絡費	18,022
会員活性費 / いずみ会室関連費	740,732
雑費 / 予備費	1,430
母校支援費	224,441
合 計	3,353,463

【収支の部】

項 目	令和5年度実績
当期収入	3,502,105
当期支出	3,353,463
当期収支残	148,642
前期繰越金	12,754,774
次期繰越金	12,903,416

令和6年度 予算案

(自令和6年4月1日～至令和7年3月31日)

単位：円

【収入の部】

科 目	令和6年度予算
入会金 / 会費 / 寄付金	2,961,000
総会参加費	300,000
評議員会懇親会参加費	50,000
名簿関係収入 / 広告収入	56,000
雑収入	10,000
合 計	3,377,000

【支出の部】

科 目	令和6年度予算
総会関連費	500,000
役員・評議員会合費	340,000
広報費 / 会員情報関連費	2,280,000
会費関連費	430,000
母校連絡費	30,000
会員活性費 / いずみ会室関連費	870,000
雑費 / 予備費	110,000
母校支援費	400,000
合 計	4,960,000

【収支の部】

項 目	令和6年度予算
当期収入	3,377,000
当期支出	4,960,000
当期収支残	-1,583,000
前期繰越金	12,903,416
次期繰越金	11,320,416

■会費納入の決まりは、

- ① いずみ会会員は、**年会費1,000円**を納入するものとします。ただし入会金納入者は、本会入会後7年目までの会費が免除されます。
- ② 会費免除の条件…年齢にかかわらず入会金を納入し、**累計45年分**の会費を納入した場合。ただし平成22年度分までは、全会員が会費を納入したものとみなされます。また、令和元年度までに、満70歳に達した方、ならびに会費納入を完了された方を除きます。(終身会費までの年数は、izumikai@v7.comにて、会計部までお問合せください。)

※ゆうちょ銀行は振込手数料が都度発生しますので、**複数年分の納入**をお願いします。
※**定額自動送金**は取り扱っていません。必ずご自分でお振込みをお願いします。

■ **いずみ会を維持・発展させるために、今後とも会費の納入・寄付のご協力をよろしくお願いいたします。**

会計部長 山本 孝文(高30期)
e-mail : izumikai@v7.com

■「会報いずみ」送付について

令和3年度(2021年度)から、会報いずみの送付対象会員は以下のように設定されています。基本の条件は**一度でもいずみ会費納入・寄付をされた方**となります。(これから納入される方は次年度から送付対象となります)周りの方から「会報が来ない」と話があった場合にもこの条件をご説明いただき、会費納入を促していただけるとありがたいです。一人でも多くの方に「会報いずみ」が届きますようにご協力をよろしくお願いいたします。

会報送付対象会員

- ①翌年度総会担当の期…全員(2024年度は「3」「4」のつく期)
- ②中1期～高13期…全員
- ③高14期～高68期…会費納入、寄付の実績のある方(一度でも)
- ④高69期～高76期…全員(会費納入対象年度に達していないため)

※2024年度からは、高69期が会費納入対象者となります。何卒、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

母校の現況

校長 俵田 浩一



いずみ会の皆様方には日ごろより本校の教育活動にご支援・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度の学校の概況についてご報告いたします。

今年度からすべての高校生が中学校から入学した生徒になりました。完全中高一貫化の新たな歴史が始まりました。

東京都教育委員会からの指定は4つです。Global Education Network 20(3年目)、海外学校間交流推進校、理数研究校(新規)、生成AI研究校(新規)です。また、指定校ではありませんが、文部科学省高等学校DX加速化推進事業採択校になりました。

この春の現役生の主な合格状況は、難関大学の東京大学5名、一橋大学6名、東京工業大学2名、国立大学医学部2名をはじめとして国公立大学に44名と昨年に引き続き進路実現の成果をあげることができました。

国際交流活動については、5月にニュージーランド姉妹校の生徒20名が5日間本校生徒の家庭にホームステイを行い体育祭にも参加しました。6月にはエジプトの看護師8名が来校しました。7月にはインドネシアの高校生が6名来校します。8月には、中学Ⅲ年生希望者によるニュージーランド姉妹校語学研修、高校1・2年生希望者によるオーストラリア語学研修を実施します。東京都教育委員会が実施する次世代リーダー育成研修に中学校Ⅲ年生が4名合格しました。

その他の行事については、4月に中学Ⅰ年練馬フィールドワーク、中学Ⅲ年都内課題発掘セミナー、高校1年生の福島研修旅行、5月には体育祭、6月には中学Ⅱ年木更津クルックフィールズ農業体験を実施しました。夏季休業中には部活動合宿、2学期には文化祭、中学Ⅱ年大阪・京都研修旅行、高校2年台湾修学旅行を実施する予定です。3学期には、中学Ⅰ年ブリティッシュヒルズ語学研修、中学Ⅲ年沖縄修学旅行、合唱コンクール、OIZUMI AWARD(中学校Ⅰ年生から高校2年生まで全員による探究発表会)を実施する予定です。

また、令和7年度から中学校の入学選抜は男女枠がなくなり男女合同選抜になります。

今年度も、いずみ会の皆様方には引き続き、様々な面でご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

教職員異動(敬称略)

【転出】()内は転出先

世界史	佐藤 慎也	(立川高校)
数学	山本 天人	(隅田川高校)
化学	堀 みどり	(清瀬高校非常勤教員)
生物	七森 敦行	(立川国際中等教育学校)
英語	ローディング雪菜	(杉並高校)
英語	長谷川 誠	(退職)
音楽	美原 良子	(白鷗高校・附属中学校)
経営企画室	金丸 奈央	(共済組合事務局)
経営企画室	岸田 裕二	(東大和高校)
経営企画室	鈴木 操	(退職)

【転入】()内は前任校

世界史	加沼 成美	(東村山西高校)
数学	村木 大峻	(王子総合高校)
化学	後藤 大平	(世田谷区立烏山中学校)
英語	近藤 京子	(田無高校)
音楽	木下 真一	(八丈町立富士中学校)
経営企画室	吉田 美茂	(光が丘高校)
経営企画室	三岡 一隆	(練馬区立光が丘第一中学校)
経営企画室	田代 雄二	(久留米西高校)

進路状況 主な大学への合格者数()内は現役生

【国立大学】41(35)

東京5(5)、一橋6(6)、東京工業2(2)、東北1(1)、大阪1(1)、九州1(0)、秋田1(0)、群馬2(2)、お茶の水女子1(1)、電気通信1(1)、東京海洋3(2)、東京外国語2(2)、東京学芸5(4)、東京農工5(5)、横浜国立1(1)、金沢1(1)、信州1(0)、高知1(0)、鹿児島1(1)

【公立大学】10(9)

東京都立6(5)、神奈川県立保健福祉1(1)、川崎市立看護1(1)、都留文化1(1)、大阪公立1(1)

【大学校】2(2)

防衛2(2)

【私立大学】643(605)

早稲田43(39)、慶応義塾17(16)、上智26(24)、東京理科42(42)、学習院15(13)、明治54(52)、青山学院16(15)、立教53(50)、中央31(30)、法政38(36)、成蹊12(11)、成城9(9)、明治学院4(4)、武蔵13(10)、日本35(32)、東洋30(28)、駒澤10(10)、専修5(5)、芝浦工業17(17)、東京薬科6(6)、明治薬科5(5)、東京電機5(5)、東京農業5(4)、武蔵野15(14)、津田塾6(3)、帝京5(5)、國學院7(7)、日本女子10(9)、大妻女子6(6)、昭和女子8(8)、東京家政6(6)、亜細亜5(5)、桜美林4(4)、東京工芸5(5) ほか

5月15日(水)、令和6年度の体育祭が開催されました。



ニュージーランドからの
研修生が参加しての玉入れ

主な学校行事

11月12～15日	修学旅行(中学・高校)
1月25日	職業講話(中学)
1月31日	合唱コンクール
3月15日	卒業式(中学・高校)
8月	海外語学研修(中学・高校)

☆☆プロムナードのソメイヨシノ3本が老朽化して倒木の危険があるため伐採されることに。

大泉の象徴であり、生徒の誇りでもある桜並木の感動を未来の大泉生にも味わっていただきたい。維持・保全是検討課題となります。



学校の今 ☆母校在籍者数(2024.04.01現在)

高等学校

各学年3クラスの計329名(男子155名・女子174名)

附属中学校

各学年4クラス 計478名(男子224名・女子254名)

2022年に高校の入試を中止したため高校のクラス数が附属中学から上がってきた3のまま。附属中学校は1クラス分増員の募集となり各学年4クラスに。現在は全校21クラスだが2027年には中1から高3まで各4クラスの計24クラスで基本の編成に。生徒数は最大でも960名。

2021年度～2027年度 クラス数の推移

年度/学年	中I	中II	中III	高1	高2	高3	計
2021	3	3	3	5	5	5	24
2022	4	3	3	3	5	5	23
2023	4	4	3	3	3	5	22
2024	4	4	4	3	3	3	21
2025	4	4	4	4	3	3	22
2026	4	4	4	4	4	3	23
2027	4	4	4	4	4	4	24

職業講話

2月17日(土)に附属中学校Ⅲ年生を対象とした、令和5年度職業講話が開催されました。講演の内容および生徒の感想はホームページをご覧ください。

後列 左から 山田嘉彰、若井孝之、福田俊弘
前列 左から 高岡由貴、寺田唯真、杉浦智恵



■第1講「エンジニアの国際親善ボランティア活動」

..... 福田 俊弘(高16期)

サブタイトルは「エスペラントとマジックを使った国際親善活動」です。ボランティア活動として世界中を飛び回り、子供達を笑顔にさせます。

感想文のなかで「もし可能であれば、世界の言語を一つにするべきか。」という問いがありました。提示者は、NO(反対)と言っていますが、私もNO(反対)です。提示者が言う「言語が通じないからこそ楽しい、というのが異国交流の楽しさだ。」と言っていますが、私もこの考えに賛成です。私も言葉(エスペラント)が通じない中で、楽しい異国交流を続けてきました。

■第2講「Think Globally AI時代を生きるヒント」

..... 若井 孝之(高24期)

この文章の作成に当たり、多少なり生成AI(人工知能)の力も借りてみました。AIはものすごいスピードで進化しています。皆様もAI時代を生き抜くために、自ら学び続ける姿勢を持ち、積極的に挑戦し続けてほしいと思います。

私は大学卒業後、企業の情報システム部門に38年間勤務しました。海外勤務通算11年、システム会社の設立などに参画する中で、国内外の多くの人々と出会い、様々な経験を積むことができました。更に定年後も、今までの経験を活かし、外国人留学生相手に専門学校の講師やシステム監査の仕事も続けています。システム開発の現場で培ったスキルは、教育や監査の仕事でも活かすことができていると感じています。

私が伝えたかったのは、「今を一生懸命生きる。」ことです。過去は変えることはできません。しかし、過去の経験から学び、今をより良く生きることによって、理想的な未来を作ることができる私は信じています。これから様々な困難に直面すると思いますが、色々なことに興味を持ち、納得するまで追求し続けることが大切です。

■第3講「経済」と「銀行」

..... 山田 嘉彰(高28期)

私が講話した内容は、経済についても、銀行についてもごく一般的な話です。ところが日本銀行の帯封がされている100万円の束を提示すると、教室に驚きの声が上がりました。現金を万券で100枚と千円券100枚を持っていきましたが、これだけ多くの紙幣を見た人はいないだろうというサプライズで、生徒に驚いてもらおうという狙いがありました。

景気の悪い状況が長年続いていることも影響していると思いますが、感想文の中で「以前から経済に興味があった」という生徒が6名いたのには、ちょっとこちらが驚きました。自分自身を顧みると、高校3年

時に授業で「政治経済」を勉強するまで、経済には無関心だったからです。これも、私が高校に入学した昭和48年は、高度成長時代の最終年という時代背景が影響しているのかなと感じました。

■第4講「司法通訳の仕事」

..... 杉浦 智恵(高32期)

司法通訳に求められるのは、正しく相手の話を通訳すること。決して、わかりやすく意識するものではありません。「相手の話す言語の対訳として最も適切な訳語を使う。」ようにしなければいけないということで、決してわかりやすく意識するものではありません。

「司法通訳ではニュアンスを伝えることが重要だから、AIではなく人間が必要です。」AIが今の時代自動翻訳してくれるけれど、意識は人が行なったほうが、本当に伝えたい内容がわかるのです。

■第5講「高齢化社会での看護師の仕事」

..... 寺田 唯真(高64期)

看護師という職業の実情を私個人の病院や地域包括センターでの失敗談や経験談を交えて話しました。特に社会人となって働く事については学生のうちだと中々イメージがしづらいのではないかと思います。あえてシビアな面にも触れました。例えば患者さんに対して偏見を持たないことが大切です。「この患者さんはこうだ。」と決めつけて接してしまうと気がつけなことができません。

社会で働く上で日頃のニュース等で報じられる法律や制度等は実は自分たちの生活や仕事にも関係しているという事は、普段は忘れてしまいがちですが非常に大事な事実でもあります。医療関係の職種の場合は高齢者や認知症とは切っても切れない関係という事もあり、政府から打ち出された施策や制度とその背景も含めて今回の講話で少しでも知って頂き興味を持ってもらえたら嬉しいです。

■第6講「日本の石油・エネルギー資源の安定供給について」

..... 高岡 由貴(高69期)

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構[JOGMEC]で働く講師の高岡さんは海外での留学経験から、大学へ行くことが全てではないことに気づきました。多くの選択肢を持ち、自分のやりたいことを見つけることが大切です。

普段から使っているエネルギーは有限であり、人類にとって何が課題で何が必要であるかを話されました。また、カーボンニュートラルの実現に貢献するために、産業活動によって排出されたCO2を、石油を採掘した跡の空間に貯蔵するという研究も紹介されました。

部活動の思い出

高46期

「部活の思い出」

戸田 敏治

大泉高校で過ごした陸上部での日々を思い返すと、競技の記録よりも人とのつながりが鮮やかによみがえってきます。大泉高校の顧問の先生や先輩、同期、後輩はもちろんですが、他校の先生や陸上を通じてできた仲間達の顔も浮かんできます。

顧問の先生は陸上競技に詳しくありませんでしたが、とても面倒見のよい方でした。特に印象深いのは、高校3年生の時のエピソードです。杉並工業高校がやっている合同合宿に単身参加したいと相談したところ、快く許可してくださいました。さらに、大泉高校から自転車で一緒に訪問してくれて、相手校の先生に挨拶してくださいました。(恐らく校長へは内緒で対応してくださったはずなので、恩師のお名前はあえて隠しておきます 笑)

他校の先生から好意的に迎えてもらったのは、すべて先輩方のお陰です。顧問の先生が競技に詳しくない分、先輩、しかも、卒業した先輩方が現役を指導

したり、練習相手になったりすることが、私達の時代では常識になっていました。先輩達のお陰で他校との先生ともつながれましたし、何よりも格上の先輩達を打ち負かそうと競い合えることが、楽しくて仕方なかったことを覚えています。

先輩方とはこのような関係だったので、恩送りとはまではいきませんが、私も高校卒業後9年間、陸上部のコーチとして携わり、先輩達と同じように他校の先生に指導を頼みに行ったり、後輩らの練習相手をしたりしました。母校の後輩のためと見られがちですが、実は、自分がお世話になった他校の先生や仲間達と会う「建前」ができるので、私が一番楽しんでいたと思います。

陸上競技を通じて「年齢の異なる人々と深いコミュニケーションをとることができた」。このことは、私の人生をととても豊かにする一因となっています。陸上部の枠に留まらず、いずみ会の中でも縦のつながりを大事にして、世代を超えた豊かな体験ができることを増やしていけると嬉しいなと思っています。

高28期

「都立大泉高校ラグビー部よ永遠に」 市毛 芳伸

昭和21年(1946年)から続いてきた大泉高校ラグビー部が廃部の危機をむかえている。

中高一貫高となり、高校3学年で5人以上部員のいない部は休部、更に休部が2年間続くと廃部となる。

現在現役部員2人のラグビー部はこの5月に休部となり廃部はほぼまぬがれない。

都立高校としては歴史と伝統があり、大学・社会人で活躍する多くのOBが同じグラウンドで汗を流したのだが、大変残念だ。

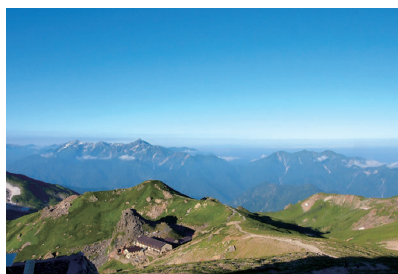
子どもの頃、熱血先生がラグビー部の顧問という“青春”TVドラマがあったが、なんとか子どもたちにラグビーの魅力を伝えるアニメや漫画が流行らないものか。



高69期

「中高6年間の思い出」

高岡 由貴



私は大泉高校附属中学校の二期生として入学しました。慣れない制服に袖を通し、校門をくぐったあの日、高校生は私服だったため、先輩たちはずいぶん大人に見えました。また、「自主自律の大泉」というスローガンが掲げられており、高校生の先輩たちはまさに自主的で活動的で、憧れを感じたのを覚えています。

私が中学受験をした理由は「中高6年間、受験に邪魔されずに部活動などに打ち込みたいから」でしたが、部活動や委員会の場でも、中学生だけでなく高校生の先輩と活動できたことが印象に残っています。特に私が所属していた中学校の水泳部には女性の

先輩・同期がいなかったため、高校生の女性の先輩がいたことは大変安心でき、また年上の強い先輩方と一緒に活動できることは刺激的でした。

また、委員会で出会った別の先輩に誘われ、高校からは山岳部に入りました。高校三年間、毎夏みんなでアルプスに登ったことは高校生活一番の思い出かもしれません。その後、登山は私のライフワークになり、今でも当時の部活動の仲間や先輩方と登山に行くこともあります。

6年間同じ学校に通うことで、年上の先輩と関わることができ、アドバイスをいただいたり、自分では見えない部分について視野を広げたりできたことが大変良かったと感じています。在校生のみなさんにも、いろいろな先輩・後輩と関わり、良い刺激を受け合ってほしいと思います。



特別講話

目指せ一級建築士

寺 章夫 (高20期)

足の裏のご飯粒……………

建築を大学や専門学校で学ぶのに、大きく理工系と美術系があります。欧州圏では建築は芸術のジャンルに入り、美術系の学校で学ぶのが主流ですが、日本では建築は技術系に重きが置かれ、工学部にある大学が多いです。その中で私が学んだ東京藝術大学建築科は明治時代の「図案科建築教室」から始まる美術系の学校で、「建築学科」と呼ばずに「建築科」と言うのが面白いです。そして、今では数多くの美術大学に設置されています。

普通の国立大学は一般教養2年を経て、専門課程2年ですが、藝大は一般教養に当たる自然科学、人文科学などを、図学や構造力学、建築の原書講読、西洋建築史、日本建築史などのカリキュラムに置き換えて、1年生から専門課程を学びます。また1学年15名という少人数制を生かして、建築設計の課題は1年から4年まで、教授陣から濃密な指導を受けました。当時は1学年に女子が1、2名でしたが、今は半数以上が女子だそうです。

人々の営みを守る建物の安全性を確保するために、資格を持った建築士による設計が法で定められています。一級建築士の場合、一般的に大学の建築学科を卒業して実務経験2年を経ると受験資格が得られ、4科目の学科試験を経て、2次試験は1日かけて設計課題の図面を描き、合格すると国土交通大臣から免状が交付されます。合格率10%と言われていますが、夜間の予備校などに通って真面目に受講すればそれほど難しい資格ではないと思います。

設計事務所勤務から40歳で独立したものの、何のバックボーンのない身として経営は楽ではありませんでした。しかしありがたいことに母校の同期の仲間から設計の依頼を多数いただき、クラスメイトの須藤和由君と目白のオフィスをシェアして、30年にわたり仕事を続けてこられました。一級建築士の資格は「足の裏のご飯粒」「取っても喰えないが、取らないと気持ち悪い」が言い得て妙で、資格だけでは安定した収入は保証されませんが、皆さんの夢を実現するお手伝いができる楽しい仕事だと思います。



↑西武池袋線清瀬駅ホームから北側に見える1997年竣工の5階建てのビルを設計。斜線制限を逆手にとったお城のような外観。



寺師医院 Terashi Clinic

院長 寺師 良樹 (高21期)

〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 5-5-25
TEL : 04-2692-3352

新桜台
中村ファミリークリニック

院長 中村 聡美 (高校32期)

〒176-0003 東京都練馬区羽沢 2-2-14

TEL : 03-3991-7131 FAX : 03-3991-7139

HP : <https://www.s-nfc.com> E-mail: nakamura@s-nfc.com

無垢の木と
漆喰の住まい



「桜匠館」竣工
創立五十周年記念事業

カンザキ建設

新刊



ご来場の方に
「自然乾燥の
無垢の木と
漆喰で家をつくる」
プレゼント!



土・日・祝 10時～16時 開館
杉並区浜田山 4-10-8
03-3397-1150



同期会開催報告

高8期 同期会報告・最終！

コロナ明けの昨年5月の参加者のもう一度という声に押されて、2024年5月17日(金)に東武百貨店14Fのバンケットホールに45名が集まりました。

いつものように茂木光男さんの司会、進行で始まり。乾杯の音頭を二宮靖子さんに。吉田文毅さんの現役時代のエピソードに耳を傾け、南雲一嘉さんの声に合わせて手を広げ深呼吸をしながら大声でハッハッハッ！45名が一つになりました。8期は来年高考卒業70年、幽明境を異にしまった仲間が多い中で、青春時代の3年間で共に過ごした友人達と再会し語り合えることの喜びを感じて時を惜しむかのように談笑の輪が広がりました。最後に小熊坂満邦さんの指揮で校歌、校友の歌の大合唱。藤本誠さんの閉会のことばと三本締めで8期同期会の幕を閉じました。卒業以来同期会の運営に携わってきた幹事としては、後ろ髪を引かれる思いでした。

宇田川公子

しました。閉会后、赤門斜め前の喫茶店で二次会となり、27名が参加し、今度は椅子に座って長時間を過ごしました。来年の幹事はE組となり、幹事予定者の挨拶もあり、散会しました。

石川文武

高16期 同期会報告

高校16期同期会(くぬぎ会)を2023年10月16日(月)に「アルカディア市ヶ谷私学会館」



で開催しました。コロナ禍で4年間中断して久しぶりに開催したこともあり、にぎやかな会となりました。出席者の近況報告・スピーチをいくつか紹介します。

- ・年齢77を過ぎてなお仕事で忙しい、山登りやゴルフを楽しんでいる

- ・「鰯雲」を入れた句が句会特選に選ばれた
- ・子育てに関する著書を出版した
- ・新型コロナに感染した
- ・心筋梗塞で失神したが命拾った
- ・母校某運動部での体験を60年経た今激白する 等々。

中でも異彩を放ったのは、活動家Fさん。以下の近況報告でした。

- ・パレスチナ・アフガニスタン・イランなどの難民施設や学校を訪問しマジックショーで子ども達を楽しませている。

欠席者から寄せられたメッセージも紹介されました。会の締めくくりに校友の歌を大合唱。

次回同期会は2025年に開催する予定です。今回の出席者は41名。次回は参加費を抑え多くの方の出席を期待しています。

西川 記

高14期 同期会報告

2023年10月14日(土)、練馬区役所20階展望レストランに中山先生をお招きして同期会を開催しました。先生は94歳になられてもお元気に歩いていらしてびっくりです。



新型コロナのために4年振りの同期会でしたが38名の出席でした。

晴天に恵まれ素晴らしい眺めでしたが大小カラフルな傘を持ち寄っての八十歳の傘寿の会です。返信ハガキで寄せられたメッセージは今回も「出席状況とミニ通信」を作成配布して紹介しました。

これからも毎年10月14日に同期会を開催し元気を確認し合いたいと思います。

布施百合子

高15期 同期会報告

昨年に引き続き2023年11月15日(水)に15期の同期会を東京大学農学部構内のレストラン「アールボアー」で開催しました。今までは1年おきの開催でしたが、



一回欠席するとまた2年待つこととなり、高齢者にとっては永久欠席になりかねず、毎年開催をとの声が多かったため、毎年開催となりました。今回は33名の参加のもと、担当幹事のF組の進行で開会あいさつの後、イベント抜きの歓談に突入し、2時間をにぎやかに過ごしました。そのため、今年も集合写真はありません。傘寿を迎えた仲間とは立食のまま歓談が進みましたが、「椅子は？」との声もほとんどなく、参加者の元気さには感心

高20期 同期会報告



コロナが5類に移行、晴れて2023年11月10日(金)、12:00～15:00、池袋のホテルメトロポリタンに83名が集まりました。あっという間の3時間でした。

幹事間のメールを紹介すると「黒崎君のBGM、星野君の手作りマスク、青目君リードのグループ写真、行本君のいつもながらの面白い全体写真リードなど感謝です。」「初めて話をする人もいて、新しい友が出来たことも嬉しかった。」「クラスごとの写真撮影があんなに楽しそうによろこばれるとは意外。」「一皿しか食べられなかったけど、美味しかった。河豚(?)のから揚げに未練。」等々。

公式の同期会はあと2回。次回は寿寿のお祝い。2年後の秋には今回参加できなかった人など多くの仲間が集まっていたいだきたいと思います。

高24期 古希の会

2024年6月20日(木)、新宿にて大泉高校24期の同期会が開催されました。年齢に合わせ?昼過ぎから始まり54名の参加でした。途中ゲームも挟み、楽しく盛り上がるうちに閉会となりました。卒業後10年ごと、そして還暦記念の年からは5年ごとの同期会でした。今回の案内状で中心となってきた幹事団より今年が最後の会とさせていただくとの旨が書かれ、本当に久しぶりの出席者も多かったと感じました。筆者は最後の数回を末端で手伝った者ですが、長い間この会を維持、支えてきて下さった方々に心より感謝の言葉と気持ちを表します。ありがとうございました。

7月30日に幹事ご苦労さん会を開催して、24期の会の会計報告を行いました。その中で残金26,200円をいずみ会に寄付する事にしました。参加された皆さん、ご了承下さい。



現役時代と変わらぬ若々しさにはビックリでした。受付にていずみ会会費等の御用承り中の私は、8組山本ですと名乗ったところ、覚えていないとの痛恨のお返事。残念です。しかしながら、ポンと特別寄付金のお支払い。大感謝であります。まだまだ名残惜しい面々は池袋西口に河岸を変えて二次会に突入。人の入れ替わりはありましたが、76名が結集。今度は座敷での膝詰めの談論風発。こうして池袋の夜は凄まじい熱気のうちに更けていくのでした。最後に幹事団のみなさんの大変なご苦労といずみ会受付設置のご配慮に対して心より感謝いたします。また、会費・寄付金にご協力いただいた同期各位にも合わせて御礼申し上げます。大切にさせていただきます。

山本 孝文

高39期 同期会報告

2024年6月15日(土)7年ぶりの同窓会が開催されました。先生方8名を含めて100名集まり、1~3次会12:00~21:00、あっという間の9時間でした。幹事の嶋木さん、荒木さん、水野さん、梅田さん、田村さん、佐々木さん、青木さん、宮崎さん、カメラマンの森さんありがとうございました。7年ぶりもしくは高校卒業以来37年ぶりに旧友と、高校時代のこと、卒業後の喜怒哀楽の語りあい。先生方とは高校から変わらぬ自分の思い出しと、楽しい時間を過ごしました。また、高校時代は、顔は知っていたけど話したことのない同窓と、同じDNAというのでしょうか、希少な出会いができました。言い出すときりがなく、次回また語りましょう。

次回同窓会は2029年3月31日(土)開催です。60歳での開催です。200人集まろうということで動く予定です。

眞下 敏

高30期 同期会報告

2024年6月15日(土)は梅雨入り前ながら、真夏日近い暑さのまさに旧暦五月晴れ。池袋駅東口のイタリアンレストランで立食形式の一次会を開催、何と94名が参加。高校時代の思い出や各自の現況につき、喧喧囂囂の大喧騒。なかでも95番目の出席者が2組担任保健体育の青木晋先生。

いずみ会ホームページ (<http://www.izumikai.com>) でもお伝えしております。ぜひご覧ください。同期会を開いてみようと考え中の幹事さん。いずみ会ではお手伝いをさせていただいています。ぜひいずみ会ホームページ「お問い合わせページ」からご相談ください。

同期会開催のお知らせ

●高23期

日時: 令和6年(2024年)11月8日(金)12:00~15:00
会場: グレースパリ 池袋本店
会費: 5,500円
※2次会 グレースパリ(同ビル別室)(カラオケ)15:30~ 会費3,000円

●高29期

日時: 令和6年(2024年)10月5日(土)14:00~16:00
会場: アイビーホール 青学会館3階 シノノメの間
会費: 7,000円

●高28期

日時: 令和6年(2024年)10月4日(金)14:00~16:30
会場: トラットリア クアルト 池袋
会費: 6,500円(男性) 6,000円(女性)
※2次会 大馬鹿地蔵 池袋西口店17:30~

●高36期(昭和40年生まれの代)

来年、還暦を迎える記念の年となるので、同窓会を企画します。令和7年(2025年)7月26日(土)に行う予定です。まずは、お知らせまで・・・

幹事一同

高74期20歳を祝う集い … 初めての同期会 …



2024年(令和6年)1月8日、20歳の笑顔のように晴れやかな青空の下、高74期生136名、先生方6名が華やかに賑やかに母校食堂に参集しました。卒業して2年、お互いに変わったこと、変わらないことを確かめあう笑い声にあふれる時はあっという間。何年か後にまた集まりましょう!!

2024年(令和6年)いずみ会ホームページ、主な掲載記事の紹介

いずみ会ホームページでは2023年も多くの会員活動の紹介をしてきています。

この中で、2023年3月から2024年3月までの1年間、24回に亘って掲載を続けてきた「高校15期 坂本成さん 作品紹介」を、また、連載の中から母校に寄贈された作品について本紙上でも紹介をさせていただきます。



★2023年(令和5年)いずみ会ホームページより

高15期 坂本 成さん

坂本成さんは早稲田大学・建築科を卒業後大手ゼネコンに進まれ、60歳での定年退職を機会に独学で油彩画を描き始められました。その後20年余で描かれた作品は、A5判に近いサムホールサイズから畳1枚に近い100号まで400点余、2023年まで毎年個展を開催してこられました。作品の多くは国内外の風景、その中でもヨーロッパの古い街並みと長い歴史を有する建造物を精緻に描いた作品が際立っています。

いずみ会ホームページでは、坂本さんの作品の中からヨーロッパの都市の情景を描いた作品24点を、作品制作時の思い出と共に紹介しました。この24点の中の1作品が4月に母校に寄贈され、在校生の目を楽しませています。寄贈された作品は、フランスのスペイン国境に近い渓谷地でキリスト教巡礼路の宿場町、また、フランスでも屈指の景観を誇る街「ロカマドール」を描いた作品です。母校へお越しの節は是非ご鑑賞ください。

また、坂本さんはいずみ会ホームページでの連載を機会に油彩画集「陽と径を辿る ～ヨーロッパの建築と街～」を自費出版されています。

皆さんも、日頃の趣味を生かした作品をいずみ会ホームページで紹介をされては如何でしょうか！



浜田・小川副校長に作品の贈呈



母校に寄贈された作品「ロカマドール」

職業講話講師 ご協力をお願い 人材バンク部

いずみ会では毎年2月に附属中学Ⅲ年生を対象とした職業講話を開催してきており、また、母校においては高校生を対象とした講座の再開も検討をされております。講師として皆様の更なるご協力が必要となってきております。

最近の在校生の多くは、データサイエンスやAIを含めたIT技術に関する分野や具体的な業務、医療分野、経済・経営関連などの学問系統に大きな関心があり、また、「仕事とは何か」「将来の仕事の探し方」についても広く聴講希望があると聞いています。

母校後輩のために、一人でも多くの方から豊富なご経験、最新の知識・情報を提供・紹介をしていただくことをお願いします。ご協力いただける方は12面「いずみ会からのお願い」にてご連絡ください。

追悼 ご冥福をお祈りいたします

2023年8月11日～2024年8月25日HP計報新規掲載分

■先生方

教科	現姓	逝去
国語	中村 格 先生	2023.3

■会員計報 (敬称略)

期	現姓	逝去
中学2期	吉田 藤人	2022
高校3期	戸栗 愛	2023.1.29
高校4期	下長根 春生	2022.11
高校5期	佐藤 浩	2024.1.8
高校6期	武井(佐藤)和貴子	2024.3.28
高校6期	太田 育夫	2023.7
高校7期	大立(吉澤)弘子	2023.5.25
高校8期	廣田 昌義	2024.1.18
高校8期	竹内 章祐	2023.2.26
高校8期	谷治 正孝	2023.11.14
高校8期	加藤 文男	2023.3.05

高校9期	大山(大岩)絹子	2023.2.22
高校10期	山田 喜照	2024.3.6
高校10期	川井(小林)登志子	2023.8.27
高校10期	関口(岸)昌子	2023.11.1
高校10期	井口 正光	2023.11.4
高校10期	山田(松村)昭子	2023.2.15
高校10期	桑田 昌子	2022.12
高校10期	古尾谷 逸生	2023.5.4
高校10期	田内 弘敏	2023.8.4
高校10期	深山 方正	2023.6
高校12期	松井 由雄	2023.9
高校12期	浦尾 雄児	2022.10.29
高校13期	吉村 剛士	2021
高校13期	松井(須田)和子	2024.2.12
高校13期	成田 満	2022
高校13期	裏田 和夫	2023.9.26
高校13期	佐々木(菅原)彰子	2022.12.15

高校13期	佐久間(大西)百合子	2023.7.5
高校13期	佐久間(野口)敦代	2023.7.1
高校13期	櫻井 正昭	2023.9.3
高校14期	国谷 俊之	2023.10.30
高校14期	上原 敏行	2022.9
高校14期	吉川 幹夫	2023.3
高校14期	飯村(佐野)淑子	2023.2.23
高校14期	家永 武彦	2022.11.29
高校15期	浜野(山口)広世	2022.1.30
高校16期	柏木 正二	2024.5.21
高校18期	宮田 健治	2023.6
高校18期	内田 和夫	2023.3.5
高校19期	大沢 徹	2023.6.14
高校20期	大久保 研二	2022.8
高校25期	下田 健一	2024.2.21
高校27期	矢部 泰博	2024.5.29

会計部より・寄付・広告提供者一覧

昨年度も多くの皆様に同窓会費・寄付及び広告をご提供いただき、誠にありがとうございます。今回お名前を掲載したのは次の方です。

①寄付者：令和5年4月1日から令和6年3月31日の期間に寄付を頂いた方（終身会費を超えて振り込まれた場合は寄付として扱わせていただきました）。

②広告提供者：会報いずみ68号に広告を提供していただいた方。

寄付者一覧（敬称略）

【中03】小淵哲夫、【高02】加藤直人、【高03】五十嵐孝夫、小川陽弘、【高04】猪谷千春、比嘉高、【高05】青山喜彦、川津邦雄、斉藤毅、高遠宏、米山秀春、越石昌子、鎗田恵美、【高06】大沢輝夫、佐野弘太郎、浜野章保、藤森昭治、村井淳一、石尾敏子、【高08】金子和子、土屋美弥子、宇田川公子、杉浦五十鈴、【高09】原脩、清水信、福田稔、鎌倉悦子、大軒史子、山下泰子、【高10】北山禎昭、藍原寧、大谷義彦、金沢健蔵、地口興亜、安藤肇、鈴木京子、笠尾孟子、【高11】根本知子、並木一夫、関根由喜江、匿名希望、榎本慶子、【高12】阪本桂造、川原範雄、海野徹也、小野田敦子、今坂誠、関根宥子、【高13】安達宏鎮、持田文良、高田勲、関直樹、高山武生、田中昇次、中本攻、澤村英子、小浜佐紀子、高津幸一、福田赳夫、百瀬武夫、【高14】滝沢由紀子、重松泰彦、布施百合子、早野浩、野田為久、早川希尹子、【高15】前久保博士、渡辺浩通、森田陸四郎、【高16】橋元宏、串道昭、田丸洋、柳瀬正敏、【高17】川上博司、早川聖子、稲田和子、能美卓爾、佐藤貞子、【高18】寺島孝、中村章子、相馬和子、大竹文子、富井利尚、【高19】田村明子、小山雅文、増田孝次、吉田邦夫、米元純三、水野國雄、【高20】山川長生、Gresswell紀代子、山崎春美、三上恵只、山口達夫、乃美和夫、江崎美治洋、甲元真人、田中憲太郎、【高21】鈴木治子、眞田りえ子、大和

田誠、酒見知加保、藤原保雄、田川正人、林賢二、田邊夏樹、西村宏模、【高22】伴辰也、山之内裕、石田正一、【高23】岡田充弘、藤波秀雄、木下直美、【高24】星野誠一、羽中田彩記子、【高25】永井宏、田中慎爾、富樫浩之、圓岡純一、【高26】酒井泰男、澤本健之、平野弘道、我妻裕美、【高27】土屋俊彦、猪又英夫、大久保高秀、神山正行、茂木敏夫、【高28】小林信、山田嘉彰、小林淳子、内島寛之、清水義裕、渡邊由里、鈴木芳子、【高29】石井秀樹、大滝真由美、【高30】藤井方毅、大坪由佳、鎌田智彦、上田陸子、大島寛治、田川憲司、堀正哉、井上暁子、榊宣宏、山本孝文、森山智子、横川雅之、【高31】関島勝巳、谷口真弓、高瀬浩和、矢崎千枝、穂積森恵、【高32】片柳秀敏、鎗田政信、小倉扶美子、【高34】星裕文、望月佐知子、柴山滋、【高35】佐藤雅一、沼田洋一、【高39】玉野洋一、【高41】茂木勝郎、【高42】森山法人、【高44】村野友理子、【高45】小泉博和、【高46】戸田敏治、【その他寄付者】高校5期同期会、高校11期同期会

広告に御協力いただいた方（敬称略）

高21期	寺師 良樹	(寺師医院)
高32期	中村 聡美	(中村ファミリークリニック)
	神崎 隆馬	(神崎建設株式会社)

■ 年会費の銀行振込による納金も可能です。

- 振込先
巢鴨信用金庫 東武練馬支店 普通口座
口座番号 No.3228965
「大泉高校同窓会いずみ会会計部長山本孝文」
- 振込者名
(例) K300817 オオイズミ タロウ
必ずお名前の前にIDをつけてください。
- 振込手数料はご負担願います。

総務・企画部より

●同期会を開きましょう！

同期会幹事の皆様、いずみ会では同期会開催に際して以下のお手伝いをさせていただきます。

- ①宛名ラベルの作成 ②名札作成 ③名札ケース貸与
- ④同期会開催を会報・HPにてお知らせ
- ⑤校歌・校友の歌音源貸与

特に、初めて開催される期にはご案内郵送費の一部を負担するサービスもあります。この機会に同期会開催を是非ご検討ください。ご相談はいずみ会窓口まで。

ホームページ・会報への投稿のお願い

いずみ会報、ホームページは会員相互の情報交換の場です。会員の皆さんの近況、身近な話題、イベント開催の案内等々、是非お寄せください。多数のご投稿をお待ちしています。

ご投稿は、izumikai@v7.comまで またはいずみ会ホームページ「いずみ会への連絡」からお願いします。

編集後記

☆本誌発行日の10月1日から郵便料金が改定（値上げ）されました。ここ数年の消費財・エネルギー・物流コスト等の全体的に物価上昇は厳しい状況が続いています。コロナ禍がおさまりにいずみ会では本誌記載通り10の同期会が2023年から2024年にかけ開催されました。ただ高年齢層の期が多く40期以降の層の開催の報告はありません。ぜひこの世代の同期会の開催を期待します。いずみ会としてもお手伝いします。今号から信書扱いにする為ゆうメールから普通郵便に変更し、また郵便物の料金をおさえるため頁数を16頁から12頁に変更しました。今後は従来以上のいずみ会ホームページの活用をお願い致します。

作った人：金子研一、浜田光、植村久、富井利尚、田邊夏樹、荒井眞理子、小倉扶美子、藤倉彰夫、関根祥平、高岡由貴、古畑基樹

2024年度 いずみ会 総会・懇親会のご案内

過去から未来へ歴史を紡ぐ。これまでも。これからも。

と き：令和6年(2024年)10月26日(土)

ところ：母校食堂

受付開始 13:30～

総 会 14:00～

懇 親 会 16:00～18:00

懇親会会場 VANSAN 大泉学園店 tel.03-5947-2073

会 費 @3,500円 (70期～ @1,000円)

今年度総会・懇親会を担当する「2の会」です。

次年度は、高校に続き、いずみ会も創立80周年に当たります。80年と言えば、それなりに長い歴史です。いずみ会の足跡を振り返り、将来へ向けて舵を切る、絶好の機会でもあります。中高一貫校となった母校のありようも変わりつつある中、いずみ会の存在意義を見つめなおして、未来へつなぎましょう。

「2の会」会長 棟方 隆一 (高32期)
いずみ会会長 荒井 眞理子 (高20期)

高75期の皆様へ

来年1月に成人式を迎えられる高校75期卒業生の皆様、おめでとうございます。それぞれの道を元気に進んでいらっしゃると思います。来る2025年(令和7年)1月13日の成人の日式典の後に懐かしい仲間と全員集合しませんか? 「20歳を祝う集い」を開きましょう! 母校・PTA・同窓会いずみ会バックアップいたします。2年ぶりのお互いの成長ぶりや思い出話を語り合い、20歳を祝いましょう。開催の詳細は75期幹事から12月初めにご案内します。楽しい思い出の会を作りましょう!!

「3の会」「4の会」の皆様!!

末尾が3と4で終わる期の方! 来年のいずみ会80周年記念の総会・懇親会のお手伝い担当の期となります。ご協力よろしくお願いいたします。近日中に立ち上がる実行委員会の委員として、また当日積極的に集っていただき、会を盛り上げていただけることを期待しています。

●いずみ会からのお願い●

- * 同封の返信ハガキのご案内に従って必要事項をご記入の上10月15日(火)までに投函ください。
- * 経費節減のためHP内「返信ページ」またはe-mail (izumikai@v7.com) もご利用ください。
- * ゆうちょ銀行払込取扱票に印字されています会費納入実績等に関してご質問のある方はいずみ会までお問い合わせください。

い ず み 会 窓 口

e-mail: izumikai@v7.com 総務・企画部

いずみ会へのご質問・ご意見・その他ご相談等気軽にお寄せください。

e-mail もしくはいずみ会ホームページから

いずみ会HP▶

